# シラバス詳細

タイトル「2021年度」、カテゴリ「学部科目-教養教育科目」

和文・英文ボタンを押すことで、和文→英文の切り替えができます。

和文 英文

医学部のシラバスはこちらから。 医学系研究科博士課程のシラバスはこちらから。

相目情報	
コースナンバリン	グ
1-309x-000	
科目名	
現代特別(西洋	近代社会思想史)
開講学期	
前期	
開講時期	
1 クォータ	
曜日・校時	
木2	
····	



#### 講義情報

#### 学士力番号

2-(1), 2-(3), 3-(1), 3-(2), 3-(3)

#### 講義形式

講義とディスカッション

#### 講義概要

近代初頭のマキャベリから今日のリベラリズムに至る西洋の社会思想史につき、それぞれの思想が出現した時代と思想の文脈、思想家が直面していた問題を概観する。まず、講師がそれぞれの思想家につき議論を行い、その今日的意義や問題点などについて全員で議論を行なう。

#### 開講意図

私たちは今日、法の支配と市場経済を柱とする近代社会の枠組みの中に生きている。このような近代社会は15~16世紀以降のヨーロッパでそのシステムの原型が形作られ、今日に至る。近代社会の揺籃期から現在に至るまでのヨーロッパおよび北米の思想家による、法、道徳、経済を中心とした世界観を概観することで、今日私たちが生きる社会のあり方を認識し、今後のそのありかたを検討するための基盤を得ることが開講意図である。

#### 到達目標

到達目標は、講義の中で説明する政治と社会に関する思想につきその概要を理解し、今日の諸問題を考えるための参照点として捉えるようになることである。

#### 履修上の注意

講義は以下の表のとおりに進行する。教科書は「社会思想の歴史-マキアヴェリからロールズまで-」坂本達哉著:2014年を使用する。本講義の評価は、出席点、議論への参加態度により行なわれる。学生の議論への積極的参加を重視する。

#### 授業計画

	<u> </u>	内容	授業以外の学習
< BACK	1	イントロダクション:社会思想とは何か	授業内容の復習・次回のテーマにつき教科書 の内容を予習

0	内容	授業以外の学習  TOP
2	マキアヴェリの社会思想	授業内容の復習・次回のテーマにつき教科書 の内容を予習
3	宗教改革の社会思想	授業内容の復習・次回のテーマにつき教科書 の内容を予習
4	古典的「社会契約」思想の展開	授業内容の復習・次回のテーマにつき教科書 の内容を予習
5	啓蒙思想と文明社会論の展開	授業内容の復習・次回のテーマにつき教科書 の内容を予習
6	ルソーの文明批判と人民主権論	授業内容の復習・次回のテーマにつき教科書 の内容を予習
7	スミスにおける経済学の成立	授業内容の復習・次回のテーマにつき教科書 の内容を予習
8	「哲学的急進主義」の社会思想 —— 保守から改革へ	授業内容の復習・次回のテーマにつき教科書 の内容を予習
9	近代自由主義の批判と継承 —— 後進国にお ける「自由」	授業内容の復習・次回のテーマにつき教科書 の内容を予習
10	マルクスの資本主義批判	授業内容の復習・次回のテーマにつき教科書 の内容を予習
11	J·S·ミルにおける文明社会論の再建	授業内容の復習・次回のテーマにつき教科書 の内容を予習
12	西欧文明の危機とヴェーバー	授業内容の復習・次回のテーマにつき教科書 の内容を予習
13	「全体主義」批判の社会思想 —— フランク フルト学派とケインズ、ハイエク	授業内容の復習・次回のテーマにつき教科書 の内容を予習
14	現代「リベラリズム」の諸潮流	授業内容の復習
15	まとめ:社会思想の歴史から何を学ぶか	コース全体の振り返りとレポートの準備

## 評価の方法と基準

BACK 責は、以下の重みづけによって算出される。

<sub>1</sub>, レポート: 60%

#### 開示する試験問題等

希望のあった学生に対して、レポートの評価、授業貢献度についてそれぞれの得点を開示する。



### 開示方法

授業後などに教員に開示要求をし、それに応じて、研究室にて成績資料データを開示。

#### 教科書

資料	版	
著者名	発行所名・発行者名	出版年
備考(巻冊	ISBN	

『社会思想の歴史-マキアヴェリからロールズまで-』		4815807701
坂本 達哉	名古屋大学出版会	2014年
古書でも構わないので本書を購入し、各回の予	習を行うことが望ましい。	

#### オフィスアワー

木曜日の5校時 ※事前にメールでアポイントメントを入れることが望ましい。

### アクティブラーニング導入状況

アクティブラーニング	導入状況			
カテゴリー4	カテゴリー3	カテゴリー2	カテゴリー1	カテゴリー0
学生が自ら主体となって、学習の方向性を定め、問題解決に導くための時間です。 PROBLEM SED LEARNING	グループや個人で行った能動的学習の成果を、教室内外で発表し、その評価を受けたり、質問に対応したりすることにより、学修した内容を深化させるための時間です。OUTPUT	学生自らが自由に発言し、グループやペアでの協働活動により課題に取り組み、何らかの帰結に到達するための能動的学習の時間です。INTERACTION	学生からの自由な発 言機会はないもの の、授業時間中に得 られた知識や技能を 自ら運用して、課題に を解いたり、課題に 取り組んだり、課題に 取りをしたり する能動的学習を行 う時間です。	基本的に学生は着席 のまま、講義を聞 き、ノートをとり、 知識や技能を習得に 努める時間です。 INPUT

20	20	20	20	20 (	TOP

#### その他

理工学部の技術者教育(JABEE)プログラムでは、「人類のさまざまな文化や社会に関する知識を基に、多面的に物事を考える」能力を養成するために、下記の学習・教育到達目標を掲げています。

基本教養科目(文化の分野・現代社会の分野)の修得により、下記の学習・教育到達目標が達成されます。

(機能物質化学科機能材料化学コース [2022年度卒業生まで]) 学習・教育到達目標(C-3)

(機械システム工学科) 学習・教育到達目標(7-1)

(電気電子工学科 [2023年度卒業生まで]) 学習・教育到達目標(D1)

(理工学科応用化学コース [2022年度卒業生まで]) 学習・教育到達目標(C-3)

(理工学科機械エネルギー工学コース)学習・教育到達目標(7-1)

(理工学科メカニカルデザインコース) 学習・教育到達目標(7-1)